

知・徳・体の各目標の達成に向けた取組の進捗や施策の成果・課題を把握するため、それぞれの目標に測定指標を設定し、PDCAサイクルに基づく進捗管理を徹底

知 (1) 知の分野の目標

子どもたちが社会に出て自らの夢や志を実現していくための基礎となる、基礎的・基本的な知識・技能やこれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力、生涯にわたって学び続ける意欲を育む

<測定指標>

①小・中学校

- 全国学力・学習状況調査(4月)において、小学校の学力は全国上位を維持し、更に上位を目指す中学校の学力は全国平均以上に引き上げる
- 小・中学校ともに、全ての評価の観点で正答率を全国平均以上とする

H31(R元)年度全国学力・学習状況調査結果
 小学校：国 +0.2 算 +1.7 中学校：国 -2.0 数 -1.7
数値は全国平均正答率との差

②高等学校

- 高校2年生の1月の学力定着把握検査におけるD3層の生徒の割合を10%以下とする
R元年度学力定着把握検査結果(3年生 4月)：24.2%
 →臨時休業等に伴い、R2年度学力定着把握検査(3年生)は6月実施
- 高等学校卒業者のうち進路未定で卒業する生徒の割合を3%以下とする
H30年度卒業生に占める進路未定者の割合：5.5%

徳 (2) 徳の分野の目標

社会の中で多様な人々と互いに尊重し合い、協働し、社会に参画しながら人としてよりよく生きていくための基礎となる、他者への思いやりや規範意識、公共の精神などの豊かな人間性・道徳性・社会性を育む

<測定指標>

- 児童生徒質問紙調査(4月)における道徳性等(自尊感情、夢や志、思いやり、規範意識、公共の精神など)に関する項目の肯定的回答の割合を向上させる

H31(R元)年度全国学力・学習状況調査結果
 「自分には、よいところがあると思う」：小学校 82.7% (+1.5) 中学校 73.6% (-0.5)
 「将来の夢や目標を持っている」：小学校 84.4% (+0.6) 中学校 74.3% (+3.8)
 「学校のきまり(規則)を守っている」：小学校 90.7% (-1.6) 中学校 96.3% (+0.1)
各質問に対し肯定的な回答をした児童生徒の割合 () は全国平均との差

- 生徒指導上の諸課題(不登校、中途退学)の状況を全国平均まで改善させる

H30年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査結果
 ・1,000人あたり不登校児童生徒数：小中20.9人(全国16.9人)、高校17.1人(全国16.3人)
 ・中途退学率：1.7%(全国1.4%)

※不登校については、「横断的取組1 不登校への総合的な対応」の指標として下記を設定
 ・1,000人あたりの新規不登校児童生徒数
 ・90日以上欠席している不登校児童生徒のうち、学校内外の関係機関等(医療、福祉、教育支援センター、心の教育センター、SC・SSWなど)の相談や支援を受けている児童生徒の割合

体 (3) 体の分野の目標

生涯にわたってたくましく生き抜いていくための基礎となる、体力や健康的な生活習慣を身につけさせる

<測定指標>

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(4月～7月)において、小・中学校の体力合計点は継続的に全国平均を上回る

R元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
(数値はT得点(全国平均=50))
 小学校：男子49.3 女子50.0
 中学校：男子49.9 女子48.8

- 総合評価でDE群の児童生徒の割合を過去4年間の平均値から3ポイント以上減少させる

過去4年間の平均値：H28～R元年度における高知県のDE群の割合の平均値
 小学校：男子32% 女子24%
 中学校：男子29% 女子14%

<課題> ○4月の全国学力・学習状況調査及び4月～7月の全国体力・運動能力、運動習慣等調査中止に伴い、知・徳・体の各分野における令和2年度の実態把握が困難となっている。

新型コロナウイルス感染防止対策に伴う本年度の対応について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う授業日数の減少等による様々な影響を最小限にする(県版調査等を測定指標として活用し、昨年度の水準を確保する)

- 高知県学力定着状況調査(12月)において測定

・小学校4・5年及び中学校1・2年の国語、算数、数学を前年度と同水準とする

- 高知県学力定着状況調査 児童生徒質問紙(12月)において測定

・道徳性等(自尊感情、夢や志、思いやり、規範意識、公共の精神など)に関する項目の肯定的回答の割合を前年度と同水準とする

- 高知県体力・運動能力、生活習慣等調査(6月～12月)において測定

・小中学校の児童生徒の体力合計点を前年度と同水準とする
 ・総合評価でDE群の児童生徒の割合を過去4年間の平均値と同水準とする

教育大綱・基本計画の考え方について

「新型コロナウイルスの影響を踏まえた今後の対応について」に掲げる施策を着実に実施し、各学校等への支援を充実させること等を通じて、まずは、子どもたちの学びを平時の状況まで取り戻すことを当面の目標とする。
 一方、本県の教育改革の歩みを止めることがないよう、第2期教育大綱・第3期基本計画に基づく取組を、学校の実態等も踏まえながら推進することで、知・徳・体のそれぞれの基本目標の実現を目指す。